

(参考1) ラスパイレス連鎖指数の動き

(1) ラスパイレス連鎖指数による総合指数は平成12年を100として97.4となり、基準年にウエイトを固定したラスパイレス指数（以下「公式指数」という。）の97.8に比べ0.4ポイント低くなっている。

また、前年比は0.4%の下落となり、公式指数（-0.3%）に比べ0.1ポイント下落幅が大きくなっている。

(2) 内訳をみると、教養娯楽は89.1となり、公式指数（91.4）に比べ2.3ポイント低くなっている。一方、交通・通信は98.8となり、公式指数（98.7）に比べ0.1ポイント高くなっている。

図 ラスパイレス連鎖指数と前年比の推移

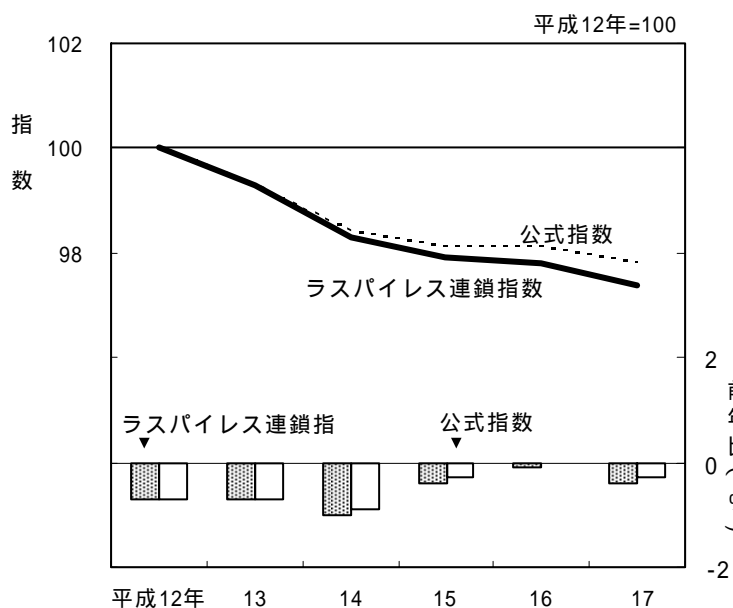


表 10大費目別

ラスパイレス連鎖指数

	平成12年=100		
	ラスパイレス連鎖指数	公式指数	差
総合	97.4	97.8	-0.4
生鮮食品を除く総合	97.3	97.8	-0.5
食料	98.3	98.4	-0.1
住居	99.7	99.7	0.0
光熱・水道	99.5	99.8	-0.3
家具・家事用品	83.7	85.1	-1.4
被服及び履物	94.2	94.3	-0.1
保健医療	102.5	102.5	0.0
交通・通信	98.8	98.7	0.1
教育	104.1	104.1	0.0
教養娯楽	89.1	91.4	-2.3
諸雑費	101.2	101.8	-0.6

ラスパイレス連鎖指数等について

消費者物価指数ではウエイトを基準年に5年間固定したラスパイレス型で公式指数を計算しているが、消費構造の変化をより迅速に反映するため、毎年ウエイトを更新して指数を計算する「ラスパイレス連鎖指数」を昭和50年基準から、基準年と比較年の中間に当たる年の消費構造を用いた「中間年バスケット指数」を平成12年基準から、それぞれ作成しており、参考指数として公表している。

なお、統計表は438, 439ページに掲載している。